

の間、東日本大
が発生し、日本の
有の力にもなれ
れし合った。

口は、ハイラさん
約10人が中
店に集まった
年目のハイ
「自分たち
衆のパフォー
又授けたい」
を呼び掛け
桑斤

場は中区大
KEMB
十後1時半か
は2千円で手
販売。売りト
つ日本赤十
を通じて両
中

があり、震
不政府から
帆自粛の要
こいう。テ
原爆を投下
・ゲイが離
両校は2
相互に訪
。今回は
14人が県
在し、平
予定して

朝に水
した
やカ
ど活魚を具
売し、焼き
がきやたい
飯などの屋
台も行列が
できた。イ
ベントコー
ナーでは、
がチヌのさばき
軒手巻きすしの
を演じた。広
ソカメの詰め放
子どもたちが
をいっばいにし

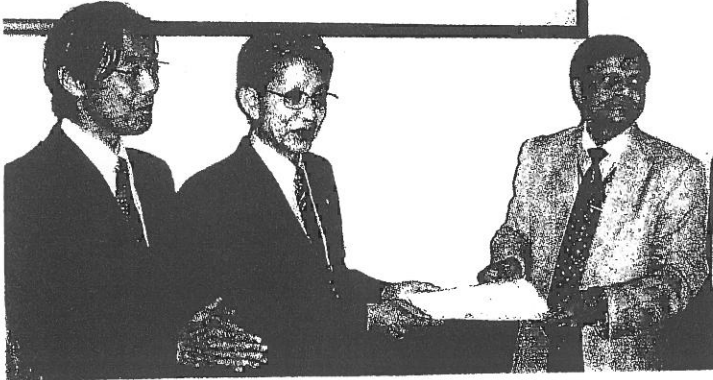
2011年(平成23年)3月21日(月曜日)

広島圏域

インドの大学と協定

広島国際学院大

広島国際学院大(広島市安芸区)は、インドのラベンシヤウ大と共同研究や人材交流の協定を結んだ。広島国際学院大の研究グループが開発した微生物とセラミックによる放射性物質の回収技術にラベンシヤウ大が着目し実現した。同国東部のウラン鉱山周辺で実証実験を重ね、実用化を目指す。(小山頭)



放射能汚染除去 実験へ

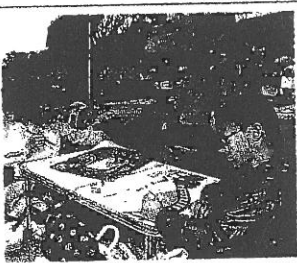
共同研究や流
材交
共人

ダス地質学部長と協定書を交わす
遠藤工学部長(左)、佐々木教授
(インドのラベンシヤウ大)

広島国際学院大の遠藤俊郎工学部長と大学院工学研究科長の佐々木健教授が2月末、インド東部のオリッサ州にあるラベンシヤウ大を訪れ、協定書に調印した。協定書は、留学生、教員交換▽研究交流▽学生の短期研修実施▽など10項目。遠藤工学部長は「農業などにも連携分野を広げ、海外で通用する人材を育てたい」と話す。

当面は同州北部にあるウラン鉱山周辺で土壌や河川の放射能汚染を除去する技術の確立に向けた実験に、佐々木教授を中心に共同研究チームで取り組む。現地は廃水処理のインフラが十分でなく、汚染が深刻になっているという。

ナス電気を帯びた粘着物質を出す光合成細菌をセラミックに吸着させ、プラスイオンを持つウランなどの放射性物質を回収する研究が続いている。粘土を焼き固めるセラミックには多数の微細な穴があり、細菌を凝縮させやうい。ウラン20ミグを



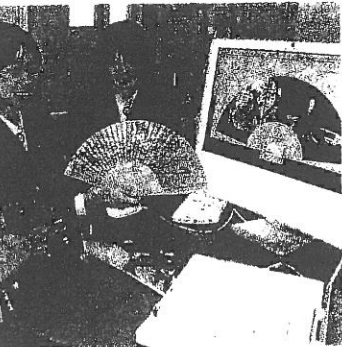
安佐動物公園で春まつり始まる

広島市安佐動物公園(安佐北区)で20日、「春まつり」が始まった。初日は動物と消防車両と一緒に描く写生大会があり、家族連れ約470人が参加した。ライオンやサイなど

厳島神社の三女神モチーフ

新土産 扇子商品化へ

廿日市市の宮島工業高インテリア科の生徒が、厳島神社に祭られている3人の女神をモチーフにした扇子の商品化に取り組んでいる。地元の大野町商工会と協力して、今年秋をめどに新たな地元土産として発売する。



秋にも発売 裏面に地図

イン画で描いた。裏面には広島の名所などを示した地図を載せた。県教委の「高校生の『起業家精神』育成事業」に採択され、4月からは課題研究の授業で取り組む。デザインに改良を加え、扇子を立てかけて飾るスタンドも間伐竹で手作りしセットにする計画。宮島口商店街の店舗を中心に売り出す。同高は3年前から商工会などと連携。宮島口商店街

事件・事故

薬事法違反の疑い
県警生活環境課、海田署などは20日、浜松市中央区鴨江1丁目、無職桜井孝尚容疑者(68)を薬事法違反(医薬品の無許可販売目的貯蔵)の疑いで逮捕し、次男の名古屋市千種区豊年町、個人投資家桜井康行容疑者(38)も同法違反(承認前医薬品の広告禁止)容疑で処分保

西広島支局
大竹支局
安芸海田ステーション
北広島支局

☎08229(31)0317 FAX(20)1035
☎08227(52)2925 FAX(54)0020
☎0822(822)0301 FAX(821)2636
☎08226(72)2171 FAX(72)7021